

3期連続会員増で好調

水夢ーあやべ健康プラザ

学生会員獲得に会費値下げも

あやべ健康プラザ（青野町）を運営する水夢（山本雄史社長）は5月22日、定時株主総会を開催しました。昨期は、入会者獲得のため、特典付きペア入会や入会紹介キャンペーンを実施。チラシのポスティングやホームページによる広告宣伝活動にも注力し、新たに412人を会員に迎えました。また、子ども向け教室の発表会や特典付きダイエットイベントを実施。続ける楽しさも感じてもらえるよう取り組みました。この結果、昨期末の会員数は20人増の1494人となりました。



⑤ ⑥ ⑦
⑧ ⑨
⑩ ⑪
⑫ ⑬
⑭ ⑮
⑯ ⑰
⑱ ⑲
⑳ ㉑
㉒ ㉓
㉔ ㉕
㉖ ㉗
㉘ ㉙
㉚ ㉛
㉜ ㉝
㉞ ㉟
㊱ ㊲
㊳ ㊴
㊵ ㊶
㊷ ㊸
㊹ ㊺

今期は、会員1500人突破を目標に掲げ、中学生以上の学生会員の会費値下げやポイントのペア利用割引などを導入。各教室の発表会も継続して行います。6月には、筋力トレーニング用のマシンをリニューアルし、設備を充実。より親切・丁寧な指導を心掛け、満足度の高いサービス提供に取り組みます。詳しくは、同社☎(40)1788へ。

新たな発想で番組賞受賞

エフエムあやべー76.3

メディアミックス、動画記録・配信事業などで最高益

コミュニケーションラジオ局「FMいかる」を運営するエフエムあやべ（井関悟社長）は6月17日、定時株主総会を開催しました。

昨期は、放送賞で最優秀賞を受賞した「朝風呂のご自慢」などの地域密着型イベントを展開。電波と印刷物といったほかの媒体とのメディアミックス事業、綾部の動画記録・配信などの委託事業により、経常利益は562万円を報告。純利益は400万円と過去最



放送賞では、温泉で歌うという斬新なアイデアが評価



地域に密着した番組作りを進め、多数の市民も出演

高となりました。

番組ホームページやインターネットで聴くサイマル放送に加え、フェイスブックページでのPRなど情報発信も強化。今期も、印刷物や映像のメディアミックスによる営業強化と、その基礎データとなる聴取率調査を行い、効果の高い広告を作成し売り上げ増を目指します。また、機動力・取材力を生かした番組やビデオ制作、行政や防災などのきめ細かな情報提供に努めるほか、可聴エリアの拡大も検討します。

各社努力

綾部市の第3セクター4社はこのほど、それぞれ定時株主総会を開催。昨期の事業・決算を報告し、今期の事業内容を決めました。

さらなる増収へ

3セク4社

施設リニューアルし増益目指す

新作ハンバーガーも開発中

睦寄町のあやべ温泉など上林地域の観光施設を運営する緑土（平方昌也社長）は6月6日、定時株主総会を開催し、109万円の経常損失を報告。昨年9月の台風18号により市道高津旭線が、3月には府道51号が土砂崩れで通行止めとなり、客足に影響を与えたことが減収の一因となりました。



高校生の発想が光る新バーガーを開発中。9月ごろ販売開始予定

好評のテリヤキチキンバーガー

一方で、昨年4月に販売を開始した「上林鶏のテリヤキチキンバーガー」が好評。鳥取県で開かれた「全国ご当地バーガーグランプリ」で10位入賞するなど、あやべ温泉の知名度アップに一役買いました。また、温泉設備や宿泊施設「あやべ山の家」をリニューアル。イノシシなどジビエを使った新メニューの提供や宿泊プランの選択肢を増やし、新たな魅力づくりにも取り組みました。

今期は新たに、温泉と山の家のホームページを整備。携帯、スマートフォンにも対応し、インターネット予約もできるようになりました。8月にはご当地バーガー第2弾として、賀茂ナスとシカ肉を使った「賀茂シカバーガー」を発売予定。さらに、綾部高校東分校と共同で、桑の葉や万願寺甘とうを使った第3弾も開発中です。詳しくは、同社☎(55)0262へ。

安定供給続け評価高まる

農夢ー京みず菜



建築中のビニールハウス。生産基盤を整え、さらなるステップアップを狙います



府立農業大学の研修生を受け入れ、次代の担い手も育成

「京みず菜」の生産量・販売額が府内トップを誇る農業生産法人・農夢（四方勝一社長）。6月21日に開いた定時株主総会で、481万円の純利益を報告しました。

昨期は、ビニールハウスを4棟増やし、計54棟でみず菜を生産。夏場は過酷な暑さに遮光・遮熱ネットに対応し、冬場は早くから保温対策に取り組むなど、年間を通じた供給体制を強化しました。台風18号の大雨によりビニールハ

ウス25棟が冠水する被害もありましたが、前年度比6割増の約132トンを販売し、売り上げは8032万円を記録。柔らかく苦みの少ない同社のみず菜は、顧客からも高い評価を得ています。

今期はさらにハウス5棟を増築。8月以降に栽培を開始する計画にしています。また昨年好評だった「寒味ホウレンソウ」は、今年の冬も栽培予定。さらなる生産量アップと販路拡大を目指します。